

## 【研究課題名】健康経営方策のための個人と組織の健康リテラシー向上策に関する研究

近年、日本企業において健康経営の実践に向けた基礎的な土台づくりとして、健康リテラシーの重要性が浸透してきています。特に、リモートワーク等の新しい働き方が進む一方で、生活習慣の変化や運動不足等による健康リスクが懸念される中、健康リテラシーの向上による社員の自律的な健康行動の促進が必要とされています。そこで、順天堂大学公衆衛生学講座と東京電力ホールディングス(株)（以下東電 HD）では、健康リテラシーの向上により、社員の自律的な健康行動の促進を検討するため「健康経営方策のための個人と組織の健康リテラシー向上策に関する研究」を行っています。そのため、過去に健康診断・ストレスチェックを受けた社員の皆様の健診データ、健康リテラシーのデータ等を使用させていただきます。

**研究対象：**東電 HD、PG、EP、FP、RP の社員のうち 2016-22 年度ストレスチェック・健康診断受診者約 40,000 名

**利用情報：**健康診断情報（性別、年齢、体脂肪率、血圧、血液検査等）、生活習慣（喫煙、運動、飲酒、睡眠等）、勤務状況、ストレスチェック、ストレス対策詳細調査項目等、新型コロナウイルス感染予防のための健康意識調査、健康リテラシー

### 上記情報等の提供先（共同研究実施機関）

[ 主な提供方法 ] 電子的配信

- ・順天堂大学：研究責任者 谷川 武
- ・東電 HD：研究責任者 鹿毛 佳子

○本研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けています。

本研究は順天堂医院が主幹機関として行う研究であり、共同研究機関の東京電力の情報も一緒に扱いますが、いずれも個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。

- ・研究実施期間：研究実施許可日～2028年3月31日
- 主機関：順天堂大学 公衆衛生学講座 研究責任者：谷川 武
- 共同研究機関：東電 HD 研究責任者 鹿毛 佳子

○利用情報は、東電 HD 内で匿名化データにした後、順天堂大学に提供し、研究成果の公表の際は個人情報を含みません。データは研究中止又は終了後 5 年が経過した後、個人情報に注意して廃棄します。研究により知的財産が生じる場合、その権利は大学・研究者に帰属し、個人に帰属しません。

○本研究は、共同研究契約により東京電力ホールディングス(株)から提供される研究資金により実施されます。本研究結果の解析については中立性を確保し、東電 HD は解析等に関らず、結果に影響を及ぼしません。研究責任者の谷川は、東電 HD の顧問産業医ではありますが利益相反に該当せず、他の研究者にも利益相反はありません。

○「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(5)の規定により、本研究では皆様から同意取得はせず社員向けホームページでお知らせしています。情報の提供を拒否したい場合、下記にご連絡ください。尚、同意有無は今後の就労等に一切の影響を与えません。

**【問い合わせ先】**

東京電力ホールディングス(株)経営技術戦略研究所経営戦略調査室ヒューマンファクターG

研究責任者：鹿毛

神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町4-1 電話：090-6720-4423